

公益財団法人国土育英会 2019年度奨学生募集要項(日本人向け)

2019年3月22日改訂
東京都渋谷区松濤1-9-22
公益財団法人 国土育英会

1. 奨学金制度の概要

(1) 奨学金給付内容について

- ① 支給額: 月額1万8千円(給付型奨学金であり、返済の必要はありません。)
- ② 毎月末日支給(月末が金融機関の休業日に当たる場合はその前日となります。)
- ③ 支給開始予定日: 2019年6月末日(6月末日は4、5、6月分の計3ヶ月分を一括支給予定です。)

(2) 奨学期間: 支給開始年から在学課程最終年度末まで

(3) 募集人数: 8名を予定

(4) 他の奨学金制度との併給も可能です。

2. 応募資格

- (1) 学業、人物ともに優秀で、かつ健康であって、学業の維持のために奨学金の給与が必要と認められる者。
- (2) 2019年4月時点で正規生として大学・大学院に在学する日本人学生を対象、所属学部・学科は不問です。
- (3) 東京都内での面接が可能な者とします。(6月初旬を予定)
- (4) 毎年年度末に、成績証明書、在学証明書または卒業証明書を提出して頂きます。
- (5) 当財団が開催する交流会へ参加して頂きます。

3. 応募方法

(1) 必要書類

- ① 奨学生願書(当財団所定のフォーマット、写真添付必要)
- ② 在学学校長又は指導教授の推薦書
- ③ 在学証明書
- ④ 成績証明書(大学1年次生は、高校卒業時の成績証明書)
- ⑤ 所得証明書又は納税証明書
- ⑥ 健康診断書(直近1年以内に実施したもの)

(2) 受付期間

2019年4月8日(月)～2019年5月20日(月)

4. 選考方法

第一次選考の書類選考、第二次選考の面接を経た上で決定を行います。面接選考スケジュールについては、下記の通りの予定となっております。

2019年5月20日(月)	奨学生応募書類受付の締切
2019年5月31日(金)	各大学へ書類選考の結果連絡
2019年6月6日(木)～6月8日(土)	面接予定日
2019年6月20日(木)	最終選考結果の連絡、奨学生必要書類の配布
2019年6月28日(金)	奨学金支給開始予定

※応募に関する問い合わせは、各大学の担当窓口にお申し出ください。

※応募締切日までに健康診断書が間に合わない場合は、後日郵送で対応致します。

※面接の場所は、公益財団法人国土育英会事務所(東京都渋谷区松濤1-9-22)を予定しております。

※面接の日程・時間については、2019年5月31日の書類選考結果の連絡時に、各大学のご担当の方へご連絡して、日程調整をさせて頂く予定です。

※最終選考結果及び奨学生採用の手続必要書類は、各大学のご担当窓口へ郵送いたします。その後大学経由もしくはご本人と直接連絡を取って、書類が揃った段階で奨学金の支給を開始する流れとなります。

※応募にあたって提出いただいた書類は、奨学生の選考及び奨学金給付の管理にのみ使用します。また奨学生に選考されなかった方の書類は当財団で破棄いたします。

以上

2019年度 公益財団法人国土育英会 奨学生願書 (日本人向け)

記入日: 年 月 日

ふりがな	(姓)	(名)	性別	写真			
氏名							
生年月日	年 月 日 (満 歳)						
研究学科等 課程	大学院	研究科	専攻 年				
	大学	学部	学科 年				
本人住所	〒 - - 自宅・学寮・下宿・その他						
電話番号		携帯電話番号					
メールアドレス		携帯メール アドレス					
家族住所	〒 - - 電話番号						
家族 構成	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先(役職名)・ 在学名(学年)	年収・税込	死亡の時
	父					万円	年
	母					万円	年
	本人					万円	
						万円	
						万円	
収入・支出	収入(月額)		支出(月額)		授業料(年額)		
	仕送り (月額)	円	住宅費 (月額)	円	本来の授業料 (年額)	万円	
	アルバイト (月額)	円	食費・光熱費 (月額)	円	授業料免除額 (年額)	万円	
	他の奨学金 (月額)	円	書籍費・学用品等 (月額)	円	自己負担 授業料(年額)	万円	
	その他 補助金(月額)	円	その他(通信費・交 通費 他)(月額)	円	特記事項		
	収入合計 (月額)	円	支出合計 (月額)	円			
学歴 (高校以上) 及び職歴 (新しい順に 記入)	年 月						
	年 月						
	年 月						
	年 月						
	年 月						
	年 月						
趣味・特技				資格・賞罰			
スポーツ等 (学業以外) での実績							

応募の動機	
将来の ビジョン (学業、仕事 などにつ いて)	<p>たとえば、次のようなことを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○奨学金を受け取って、それをどのように学業に生かしていきたいか ○大学又は大学院を卒業した後、どのようなキャリアを積みみたいか。どのような仕事につきたいか。 ○学業や仕事の経験を積んだ結果、将来どのような自分になりたいか。どのように地域や社会に貢献したいか。など

奨学生募集における個人情報の取り扱いについて
 1.当財団は、奨学生応募者の個人情報を当財団の奨学金の募集、選考、採用の目的以外には使用しません。
 2.当財団では応募者の個人情報を以下に該当する場合を除き第三者に開示しません。
 (1)応募者個人の同意がある場合 (2)法令に基づく場合
 3.当財団が取得した個人情報については厳重に管理し紛失、改ざん及び漏洩等の適切な防止策を講じます。

平成 年 月 日

殿

筑波大学長
永田 恭介

推薦書

下記の者を、貴奨学生として適当と認め推薦いたします。

記

所属	筑波大学	学群		学類	
		課程		研究科	年次
氏名	_____				

推薦所見

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

指導教員等	所属	氏名	印
-------	----	----	---

家 庭 調 書

申 請 者	所 属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____								
	学籍番号	_____	性別 男・女 _____							
	フリガナ	_____								
	氏 名	_____	_____							
		課程 _____	研究科 _____							
		専攻 _____ 年次 _____								
		現住所 〒 _____ Tel. (_____)								
		家族住所 〒 _____ Tel. (_____)								
家 族 及 び 所 得	続柄	氏 名	年 齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額		
	就 学 者 を 除 く 家 族	父				年		万円	万円	
		母				年		万円	万円	
			父または母 死亡・離別の場合		時期 (年 月)		理由 (_____)			
			主たる家計支持者無職等の場合		時期 (年 月)		理由 (_____)			
						年		万円	万円	
						年		万円	万円	
						年		万円	万円	
						年		万円	万円	
	別 居 者 に ○ 印	続柄	氏 名	年 齢	学 校 名	設置者別	学校種別	通学別	控 除 額	
就 学 者		本人			筑波大学	国立		※自 宅 自 宅外	万円	
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円	
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円	
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円	
家 庭 の 特 殊 事	特別控除項目		控除有無							
	障害者がいる世帯		※有・無	続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()						
	その他									
本 人 の 状 況	家庭からの給付	月額 (千円)						認 定		
	アルバイト	月額 (千円) 内容 (_____)						総収入金額	① 万円	
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 (_____)						必要経費	② 万円
		申請中	月額 (千円) 団体名 (_____)						特別控除額	③ 万円
	その他の収入	月額 (千円) 内容 (_____)						総所得金額	④-①-②-③ 万円	
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥-④-⑤×100

(注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。